

修士論文（要旨）

2021年1月

性暴力抑止にむけた性教育とその課題  
— 性的同意の理解をめざす性教育のグローバルスタンダードと日本の現状—

指導 鷹木 恵子 教授

国際学研究科

国際協力専攻

219J1052

横溝 南都海

Master's Thesis (Abstract)

January 2021

The Challenge of Sex Education for Deterring Sexual Violence: Global Educational Standards of Understanding Sexual Consent and the Current Japanese Situation

Natsumi Yokomizo

219J1052

Master's Program in International Cooperation

Graduate School of International Studies

J. F. Oberlin University

## 目次

序章.....	1
問題の所存と本論の目的.....	1
本論文の章立て構成.....	4
第1章 性暴力の定義と性的同意.....	6
1.1 性暴力の定義と世界の動向.....	6
1.1.1 性暴力の定義.....	6
(1) 国際的な定義.....	6
(2) 日本の定義.....	7
1.2 日本における性暴力の実態と動向.....	10
(1) 警察庁の調査による実態.....	10
(2) 教師による生徒への性的経験・Aさんの例.....	12
1.3 性暴力を生む背景と原因.....	14
1.3.1 レイプ神話とジェンダーバイアスの影響.....	14
1.4 性的同意への理解と性暴力抑止にむけた性教育.....	17
1.4.1 性的同意と性暴力.....	17
1.4.2 性的同意の理解とその複雑さ.....	19
1.4.3 予期せぬ妊娠と性暴力.....	23
第2章 日本の学校教育における性教育と諸外国の性教育の動向.....	25
2.1 日本の学習指導要領の性教育の内容.....	26
2.1.1 小学校における性教育の内容.....	26
2.1.2 中学校における性教育の内容.....	27
2.1.3 高等学校における性教育の内容.....	28
2.2 性教育のグローバルスタンダード.....	28
2.2.1 国際セクシュアリティ教育ガイダンス.....	28
(1) 『ガイダンス』の目的と効果.....	29
(2) 『ガイダンス』における性教育の内容.....	30
2.3 諸外国の性教育事例.....	32
2.3.1 スウェーデンの性教育.....	32
2.3.2 アメリカの性教育.....	40
2.3.3 韓国の性教育.....	48
第3章 日本におけるグローバルスタンダードの性教育の実践事例.....	56
3.1 NPO 法人ピルコンの性教育の実践事例.....	56
3.1.1 団体組織の誕生と活動目的.....	56
3.1.2 性教育の方針と方法.....	57
3.1.3 性教育の実践事例—PILCON for Educators の活動事例から.....	57

3.2 学校教育における実践事例.....	58
3.2.1 中学校における性教育の実践事例 .....	59
3.2.2 高等学校における性教育の実践事例.....	63
終章.....	66
日本の性教育に関する今後の課題と展望 .....	66
性暴力抑止にむけた性教育に対する提言 .....	68

参考文献

資料

性暴力の問題は、地球規模で重要課題と認識されるようになってきている。国内では、2020年には刑法改正に向けた動きがあり、また性犯罪被害者のためのワンストップ支援センターが設置されるなど、法による取り締まりの強化や、被害者への心身のケアも重視されるようになってきている。また近年NPO法人「女性・人権支援センター ステップ」によるDV加害者更生プログラムの実施など、被害者だけでなく加害者の更生を行うことで、性暴力の再発を防ごうとする動きも見られる。

しかしながら、このような支援の充実は、確かに被害者のケアに努め、支援の方法やその質が改善されてはきているものの、性暴力自体を防止することに大きく寄与してはいない。つまり性暴力そのものの予防や抑止には必ずしも繋がっておらず、抑止政策を行わなければ、性暴力の根絶とはならず、それに向けた一つの手段として、本論では性教育を一つの解として論じていきたい。

国連人口基金（UNFPA）は、適切かつ効果的な性教育プログラムを行うことにより、若者の性交を増加させないことを明らかにした。そして教育プログラムを受けることにより、予期せぬ妊娠率の低下も明らかにしている。

また、女子差別撤廃条約「一般勧告第19号 女性に対する暴力」における第16条24.(f)においては、「締約国は、女性の平等を妨げる偏見の撤廃を促進する教育及び広報プログラムを導入すべきである」と記されている。

すなわち、性暴力の抑止のための性教育の提言を行った専門機関によれば、女性の平等を妨げる偏見の撤廃を促進するためには、教育及び広報プログラムを導入すべきであるとされているのである。

性暴力の問題に関しても、近年、国際的に、「同意のない性行為は性暴力である」という考え方が広まり、これによって性教育における「性的同意」を理解させる教育への期待が高まりつつある。今日、国連諸機関を中心に提唱されている性教育は、従来の生殖や避妊を主とした教育から、包括的性教育（Comprehensive sexuality Education）、すなわち人権アプローチを採用した教育へと変化・発展してきている。それについて小川（2018）は、包括的性教育の支柱となっているのは、人権やジェンダー、性の多様性であると述べる。

一方、今日国際的には包括的性教育が提唱されているが、日本においては、ジェンダーや性的同意を教えるといった性教育は、諸外国に比べ大きく遅れている（浅井 2018）。

性教育は、これまでも性暴力抑止に有効であると考えられてきたが、日本においては性教育自体の遅れがあるなかで、特に「性的同意」に関する教育の研究蓄積はまだ十分とは言えない状況にある。さらに、世界的にも、性教育、特に性的同意に関する教育が与える影響として、暴力防止を構成要素、または重要な特徴としている研究のレビューはほとんどない（ユネスコ 2017）。一方で、性教育内容についても、包括的性教育が提唱されるようになり、月経や妊娠、避妊から、コミュニケーションや文化まで幅広く、またターゲットとなる課題が一括りになったため、各課題における性教育の明確な有効性や実践方法な

どについてあまり議論がなされてこなかった。したがって、性暴力という大きな問題の解決に向けた動きが国際的にも高まるなか、性暴力とはなにか、性的同意とはなにか、またなぜ性的同意に関して理解を促す教育が必要なのか、そしてどのように指導することが望ましいかなどを再検討していくことは、重要かつ必要な課題であると考えている。

以上のことを踏まえて、本論文の目的は、性暴力の抑止にむけた性教育とはどのようなものかについて、今日国連によって提唱されているグローバルスタンダード的性教育について、その中でも特に有効であるとされる性的同意の理解をめざす性教育について検討するものである。また、現在、国連諸機関の主導下で国際的に性教育はグローバルスタンダードとなりつつあるが、本論では特に性やジェンダーに関する伝統的な価値観を持つ日本社会に、グローバルスタンダード的性教育を組み込むことを検討することで、性教育のさらなる発展に寄与することを目指したい。

上述した通り、本論は性暴力の問題に対して、性教育を一つの解として論じていくが、現在の性教育は包括的に行われるべきであるとされ、性暴力に関する問題のみを性教育で取り扱うことには否定的であるため、現在の性教育のグローバルスタンダードとされる性教育の全体像を広く見ながら、性暴力の問題と、性教育の有効性について検討していく。

以上のような本論の問題の所在と論文の目的と構想を踏まえ、本論文の章立て構成は、次のとおりである。

第1章「性暴力の定義と性的同意」では、まず性暴力について、国際的定義と日本の定義について述べ、性暴力と見なされる要因として、性的同意の欠如について明らかにする。日本における性暴力の定義については、性犯罪とされる「同意」の問題と関連させて考察を加える。日本において性的同意年齢とされる13歳までの間に、自らの身を守り正しい知識を身に付けるための性教育の実施を提唱するとともに、日本の刑法の脆弱性について指摘する。続いて、日本の性暴力の実態を、警視庁の調査と、教師による生徒への性暴力について取り上げ、性行為を断れない状況を、被害者と加害者の地位関係や、地位が低く弱い者、すなわち子どもたちの性に関する知識不足を明らかにし、性的同意の理解を含む性教育の意義を明らかにする。次に性暴力を生む背景と要因の一つとして、レイプ神話とジェンダーバイアスを取り上げまとめる。レイプ神話やジェンダーバイアスが要因の性暴力には、「嫌よ嫌よも好きのうち」という加害者の誤解が存在し、それによって性的同意が尊重されないということを明らかにしたうえで、性的同意とは何かを明らかにする。一方で、性的同意をとる方法や、同意が取れていると認識する状況や言動は個人によって異なることを指摘し、性的同意という行為が、非常に複雑なものであることも論じる。

第2章「日本の学校教育における性教育と諸外国の性教育の動向」では、まず日本の学習指導要領に示されている性教育の方針についてまとめる。次に、『(改訂版)国際セクシュアリティ教育ガイダンス』(以下ガイダンス)を取り上げ、現在の性教育のグローバルスタンダード、すなわち包括的セクシュアリティ教育とよばれる、多彩な内容を包括的に学

び、性暴力や性教育といった内容を含む性教育について整理して概説する。本論では、『ガイドンス』の内容を、その学習目標に照らし合わせながら、特に性暴力抑止に向けた最も関連が深いキーコンセプト4「暴力と安全の確保」を中心に紹介する。また性教育のグローバルスタンダードに基づく性教育の実践事例として、スウェーデン、アメリカ、韓国の性教育を例に挙げ、性教育の動向と現状、またその特徴を明らかにする。例えば、スウェーデンは世界的にも早い段階で性教育が必修となった国の一つであるが、現在の性教育は、これまでの生殖、避妊、中絶といった内容と、LGBT やジェンダーなど包括的な性教育がなされている。さらに、本論でも特に注目した性的同意についての教育がなされ、「どのような状況が、同意がなされていると理解できるか」、ということワークショップで話し合うなどのプログラムが設けられており、その実践的な教育内容を明らかにしていく。

第3章では、「国内におけるグローバルスタンダードの性教育の実践事例」と題し、国内のNPOや各学校におけるグローバルスタンダードに近い性教育を取り上げ、その実施と内容について考察する。本論で取り上げるNPO法人PILCONは、筆者もその活動に参加しているメンバーの一人であり、ともに企画・運営を行ったメンバーとしてその活動内容を紹介していく。

終章では、各章の論述内容をまとめるとともに、特に性暴力抑止に向けた性教育のあり方について提言を述べ、また今後の日本における性教育の諸課題とその展望について論じていく。

## 参考文献

### <洋書>

Ehrlich, Susan Lynn

2001 *Representing Rape: Language and Sexual Consent*, London: Psychology Press.

Susan Brownmiller

1993 *Against Our Will: Men, Women, and Rape*.

Turchik, J. A., & Edwards, K. M.

2012 Myths about male rape: A literature review. *Psychology of Men & Masculinity* 211-226.

Richie J. McMullen

1990 *Male Rape: Breaking the Silence on the Last Taboo*.

### <和書>

浅井春夫他

2010 「性教育の新たな一步を考えてみよう(1)」『現代性教育研究月報』VOL.28, NO.3, 1-5 頁。

警視庁

2020 「第 610 号 犯罪統計資料 令和 2 年 1～9 月分」。

後藤恵美

2020 「言葉が動くとき—「セクシュアル・ハラスメント」の誕生・輸入・翻訳」『グローバル関係学 5 みえない関係性をみせる』東京：岩波書店。

埼玉県川口市立十二月田中学校

2007 「「性と心」ライフスキルの指導を基盤として、健康教育に関する研究／埼玉県川口市立十二月田中学校の実践」『現代性教育研究月報』東京：日本性教育協会。

白川美也子

2016 『赤ずきんとトラウマ・ケア』、東京：アスク・ヒューマンケア。

西岡笑子

2018 「我が国の性教育の歴史的変遷とリプロダクティブヘルス／ライツ」『日本衛生学会』73 巻, 第 2,178-184 頁。

朴恵貞

2006 「韓国」『性教育のあり方、展望—日本と世界、つながりひろがる』“人間と性”教育研究協議会編、東京：大月書店。

広瀬裕子

2013 「学校の性教育に対する近年日本における批判動向—性教育バッシングに対す

る政府対応一」『専修大学社会科学年報』第 48 号, 194-211 頁

日本性教育協会編

2001 『「若者の性」白書一第 5 回青少年の性行動全国調査報告』東京：小学館

2019 『「若者の性」白書 第 8 回青少年の性行動全国調査報告』東京：小学館

鹿間久美子

2010 『性の健康教育と養護教諭の役割—L. A.カーケンダールの性教育論を基にした理論と実践の研究』新潟：考古堂。

東京都

2012 『みんなの人権—人権問題理解のために—』東京：総務局人権部人権施策推進課。

にのみやさわり

2011 『声を聴かせて—性犯罪被害と共に—』東京：社窓。

橋本紀子他

2018 『教科書にみる世界の性教育』東京：かもがわ出版。

フクチマミ、村瀬幸浩

2020 『おうち性教育はじめます一番やさしい!防犯・SEX・命の伝え方』東京：KADOKAWA。

フラワーデモ編

2020 『フラワーデモを記録する』東京：株式会社エトセトラブックス。

村上公子

1983 『魂の殺人』東京：新曜社。

茂木輝順

2009 『性教育ハンドブック(4)性教育の歴史を訪ねる—戦前変—』東京：財団法人日本性教育協会。

文部科学省

1999 『学校における性教育の考え方、進め方』北海道：ぎょうせい。

山本直英編

1997 『セクシュアル・ライツ 人類最後の人権』東京：明石書店。

ユネスコ

2017 『国際セクシュアリティ教育ガイダンス — 教育・福祉・医療・保育現場で活かすために』東京：明石書店

2020 『改訂版 国際セクシュアリティ教育ガイダンス』、東京：明石書店。

横田洋三他監修

2019 『世界人権宣言の今日的意義』東京：国際書院。

横藤田誠、中坂恵美子

2017 『人権入門 憲法／人権／マイノリティ』京都：津法文化社。

リヒテルズ直子

2018 『0歳からはじまるオランダの性教育』 東京：日本評論社

YBM/Si-sa

2011 『초등학교 5학년 함께 하는 보건: 경기도 교육청 인정교과서』, pp.88-89.

### <新聞記事>

朝日新聞

2020年3月8日 「(フォーラム) 性暴力根絶へ、花を手に」、(藤谷ほか)。

2020年3月9日 「フラワーデモ、これからも 国際女性デー」、(河原理子)。

2020年7月19日 「だれにも言えなかった 13歳から私は」、(大久保真紀、田中奏子)。

2020年9月3日 「父や兄から性暴力 わたしも」、(大久保真紀)。

### <URL>

California Department of Education Official Letter

2018 California Healthy Youth Act—Comprehensive Sexual Health Education.

<https://www.cde.ca.gov/nr/el/le/yr18ltr0405.asp> (2020年10月22日閲覧)。

Charlotta Holmström

2020 Complexities of sexual consent: young people's reasoning in a Swedish context.

<https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/19419899.2020.1769163>

Cohen, Byers, Sears, & Weaver

2004 Canadian Journal of Human Sexuality Volume 13, Issue 1, pp.1-15

[https://www.scopus.com/record/display.uri?eid=2-s2.0-](https://www.scopus.com/record/display.uri?eid=2-s2.0-7644233183&origin=inward&txGid=aaf7965e6c9ffc394d19a7e720e34a07)

[7644233183&origin=inward&txGid=aaf7965e6c9ffc394d19a7e720e34a07](https://www.scopus.com/record/display.uri?eid=2-s2.0-7644233183&origin=inward&txGid=aaf7965e6c9ffc394d19a7e720e34a07) (2020年10月24日閲覧)。

Eva Bolander

2009 Risk och bejakande Sexualitet och genus i sexualupplysning och sexualundervisning i TV- English.

<https://www.diva-portal.org/smash/get/diva2:207427/FULLTEXT01.pdf> (2020年10月10日閲覧)。

Ever Ketting

2020 Investigating the 'C' in CSE: implementation and effectiveness of comprehensive sexuality education in the WHO European region.

<https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/14681811.2020.1766435?scroll=top&needAccess=true> (2020年10月10日閲覧)。

Government Offices of Sweden

2018 Consent – The basic requirement of new sexual offence legislation, Press release.

<https://www.government.se/press-releases/2018/04/consent--the-basic->

[requirement-of-new- sexual-offence-legislation/](#) (2020年10月22日閲覧)。

HHS and Centers for Disease Control and Prevention (CDC)

- 2014 Results from the School Health Policies and Practices Study  
[https://www.cdc.gov/healthyyouth/data/shpps/pdf/shpps-508-final\\_101315.pdf](https://www.cdc.gov/healthyyouth/data/shpps/pdf/shpps-508-final_101315.pdf)  
(2020年10月24日閲覧)。

IPPF Sexuality Education in Europe and Central Asia.

[https://www.ippfen.org/sites/ippfen/files/2018-05/Comprehensive%20Country%20Report%20on%20CSE%20in%20Europe%20and%20Central%20Asia\\_0.pdf](https://www.ippfen.org/sites/ippfen/files/2018-05/Comprehensive%20Country%20Report%20on%20CSE%20in%20Europe%20and%20Central%20Asia_0.pdf) (2021年1月8日閲覧)。

JICA

- 2018 グローバル化時代の国際教育のあり方国際比較調査 第6章 アメリカの教育課程。  
[https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/report/prmiv10000002sig-att/comparative\\_survey01\\_06.pdf](https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/report/prmiv10000002sig-att/comparative_survey01_06.pdf) (2020年10月28日閲覧)。

John Santelli and others

- 2006 Abstinence and abstinence-only education: a review of U.S. policies and programs.  
*Journal of Adolescent Health* 38 (2006)72– 81.  
<http://citeseerx.ist.psu.edu/viewdoc/download;jsessionid=FFEC7353E52E1EB45ED203CE9481811D?doi=10.1.1.366.1410&rep=rep1&type=pdf> (2020年10月22日閲覧)。

Kelli Stidham Hall and others

- 2016 The State of Sex Education in the United States. *Journal of Adolescent Health*, 58 (6) (2016), pp. 595-597.  
<https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S1054139X16300040>  
(2020年10月24日閲覧)。

K Edgardh

- 2002 Adolescent sexual health in Sweden, *Sex Transm Infect.*  
<https://sti.bmj.com/content/sextrans/78/5/352.full.pdf> (2020年10月10日閲覧)。

Klein and Breck

- 2010 “I wish I had known the truth sooner”: Middle school teacher candidates' sexuality education experiences *Research in Middle Level Education*, 33 (6), pp. 1-10.  
<https://www.tandfonline.com/doi/pdf/10.1080/19404476.2010.11462069> (2020年10月24日閲覧)。

Lindberg, Zimet and Boonstra

- 2016 Changes in Adolescents' Receipt of Sex Education, 2006–2013.  
<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC4976485/> (2020年10月28日閲覧)

覧)。

New Jersey Department of Education

- 2014 “New Jersey Student Learning Standards for Comprehensive Health and Physical Education”. <http://www.state.nj.us/education/cccs/2014/chpe/standards.pdf>.  
(2020年10月23日閲覧)。

NHK

- 2018 「性暴力被害 あまりに知られていないその実態」、ハートネット TV 福祉情報サイト。  
<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/127/> (最終閲覧 2020/6/17)。
- 2020 「【特集】性暴力はいま(5)みんなに“もっと”知ってほしいこと」、ハートネット TV 福祉情報サイト。  
<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/305/> (最終閲覧 2020/6/17)。

NPO 法人ステップ

<https://step7787.exblog.jp/> (2020年10月2日閲覧)。

NPO 法人ピルコン

[PILCON](#) (2021年1月10日閲覧)。

Oregon Department of Education

- 2016 “Oregon Health Education Standards and Performance Indicators, Grades K-12”,  
<http://www.oregon.gov/ode/educator-resources/standards/health/Documents/2016ORHEStandards.pdf> (2020年10月23日閲覧)。

Planned parenthood

What’s the State of Sex Education In the U.S.

<https://www.plannedparenthood.org/learn/for-educators/whats-state-sex-education-us#:~:text=Currently%2C%2024%20states%20and%20the,up%20to%20individual%20school%20districts>. (2020年10月22日閲覧)。

Rhode Island State Legislature

- 2018 “An Act Relating to Education—Curriculum,” Rhode Island H.B. 7044  
<http://webserver.rilin.state.ri.us/BillText18/HouseText18/H7044A.pdf> (2020年10月23日閲覧)。

RSFU “About Swedish sex education”

<https://www.rfsu.se/om-rfsu/om-oss/in-english/national-work/sexuality-education/about-swedish-sexuality-education/> (2020年10月11日閲覧)。

Sarah Combellick and Claire Brindis

- 2011 “Uneven Progress: Sex Education in California Public Schools,” (San Francisco: Bixby

Center for Global and Reproductive Health and University of California, San Francisco)

[https://www.aclunc.org/sites/default/files/uneven\\_progress\\_full\\_report.pdf](https://www.aclunc.org/sites/default/files/uneven_progress_full_report.pdf).

(2020 年 10 月 23 日閱覽)。

Schweden, Skolverket

2011 Curriculum for the compulsory school, preschool class and the leisure-time centre 2011. <http://curricula-depot.gei.de/handle/11163/290> (2020 年 10 月 10 日)。

SIECUS

2018 Public Support for Sex Education.  
<https://siecus.org/wp-content/uploads/2018/08/On-Our-Side-Public-Support-for-Sex-Ed-2018-Final.pdf> (2020 年 10 月 22 日閱覽)。

Skolverket

2014 Sex Education Gender equality, sexuality and human relationships in the Swedish Curricula, Sweden : Elanders. <https://www.skolverket.se/getFile?file=3580>  
(2020 年 10 月 14 日閱覽)。

Sophia Naide

2020 State Lawmakers Say Yes to Consent Education. Guttmacher institute.  
<https://www.guttmacher.org/article/2020/01/state-lawmakers-say-yes-consent-education> (2020 年 10 月 24 日閱覽)。

Svenska Dagbladet

2017 Uppenbarligen vet inte män att sex ska vara frivilligt [Apparently, men do not know that sex should be voluntary].  
<https://www.svd.se/regeringen-infor-samtyckeslag-stor-satsning-pa-polisen>. (2021 年 1 月 6 日閱覽)。

Theme Valli Police

2015 「Consent it's simple as tea」  
<https://youtu.be/pZwvrxVavnQ> (2020 年 8 月 28 日閱覽)。

The State University of New York

Definition of Affirmative Consent.  
<https://system.suny.edu/sexual-violence-prevention-workgroup/policies/affirmative-consent/>(2020 年 10 月 1 日閱覽)。

Malachi Willis and others

2020 Models of Sexual Consent Communication by Film Rating: A Content Analysis.  
<https://link.springer.com/article/10.1007/s12119-020-09731-7>  
(2020 年 10 月 24 日閱覽)。

William M. Welch

- 2014 California adopts 'yes means yes' law. USA Today.  
<https://www.usatoday.com/story/news/usanow/2014/08/28/california-bill-yes-means-sex-assault/14765665/>(2020年10月1日閲覧)。
- 浅井春夫  
2018 「わが国の性教育政策の分岐点と包括的性教育の展望：学習指導要領の問題点と国際スタンダードからの逸脱」  
[https://rikkyo.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages\\_view\\_main&active\\_action=repository\\_action\\_common\\_download&item\\_id=17123&item\\_no=1&attribute\\_id=18&file\\_no=1&page\\_id=13&block\\_id=49](https://rikkyo.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_action_common_download&item_id=17123&item_no=1&attribute_id=18&file_no=1&page_id=13&block_id=49) (2021年1月8日閲覧)。
- 警視庁  
2020 警視庁犯罪統計資料令和2年1～9月分  
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000032011341&fileKind=2> (2021年1月10日閲覧)。
- 金 多希  
2014 儒教社会を生きる女性たち—「列女」と「七去之悪」を手がかりとして—、宇都宮大学国際学部研究論集第37号。  
<https://uuair.lib.utsunomiya-u.ac.jp/dspace/bitstream/10241/9126/1/37-10-Korean.pdf> (2020年11月19日閲覧)。
- 2014 「新女性」の恋愛と結婚—『運命』と『除夜』を手がかりとして—、宇都宮大学国際学部研究論集第35号。  
<https://uuair.lib.utsunomiya-u.ac.jp/dspace/bitstream/10241/9075/1/35-11-Love.pdf> (2020年11月19日閲覧)。
- しあわせなみだ  
「性暴力とは 性暴力に関するデータ (1)性暴力件数」  
[http://shiawasenamida.org/m05\\_02\\_02](http://shiawasenamida.org/m05_02_02) (最終閲覧2020/6/17)。
- 千葉県立上総高等学校  
「上総高等学校の性教育の実践 — 学校全体で取り組む性教育の基盤づくり」  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/anzen/hokenn/documents/kazusakoukou.pdf> (最終閲覧2020/6/17)。
- 東洋経済 ONLINE  
2019年3月21日  
「傷ついた側と傷つけた側に向き合う彼女の覚悟 性暴力の当事者を許容しない社会への違和感」、小川たまか。
- 内閣府  
2020 『男女間における暴力に関する調査 報告書』  
[http://www.gender.go.jp/policy/no\\_violence/e-vaw/chousa/pdf/h29danjokan-](http://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/chousa/pdf/h29danjokan-)

[gaiyo.pdf](#) (2021年1月8日閲覧)。

細川倫太郎

2019 「ハラスメント禁止条約、初の国際ルール、ILO 総会」、日本経済新聞  
ONLINE

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO46361440Q9A620C1EA1000/>(最終閲覧 2020/6/17)。

法務省

2017 「平成 29 年版 犯罪白書～構成を支援する地域のネットワーク～」、  
[http://hakusyo1.moj.go.jp/jp/64/nfm/n64\\_2\\_6\\_1\\_3\\_0.html](http://hakusyo1.moj.go.jp/jp/64/nfm/n64_2_6_1_3_0.html)(最終閲覧  
2020/6/17)。

<https://toyokeizai.net/articles/-/270668> (最終閲覧 2020/6/17)。 2020  
「性犯罪に関する施策検討に向けた実態調査ワーキンググループ取りまとめ報告」。

<http://www.moj.go.jp/content/001318152.pdf> (2020年10月2日閲覧)。

文部科学省

1999 『学校における性教育の考え方、進め方』、北海道：ぎょうせい。

2005 「4. その他一健やかな体を育む教育という観点から、今後、学校教育活動全体で取り組むべき課題について」中央教育審議会。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/attach/1395097.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/attach/1395097.htm) (最終閲覧 2020/6/17)。

2017 「小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 体育編」、  
[https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/micro\\_detail/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017\\_010.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_010.pdf) (最終閲覧 2020/6/17)。

2017 「中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 保健体育編」  
[https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/micro\\_detail/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018\\_008.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_008.pdf) (最終閲覧 2020/6/17)。

2018 「第 1 章第 1 節 2 人権教育の目標について」。  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/jinken/06082102/003.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/jinken/06082102/003.htm) (最終閲覧 2020/6/17)。